

イデックスオイルレポート ~For a month~

2021年6月1日作成 (株)新出光

【月次概況】

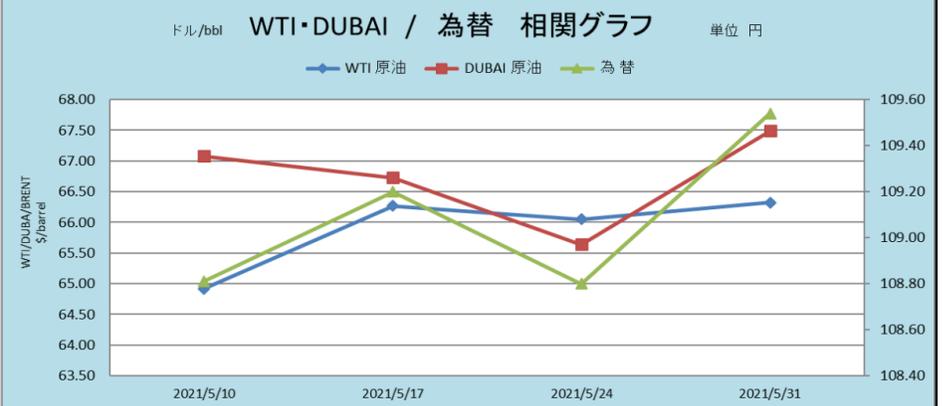
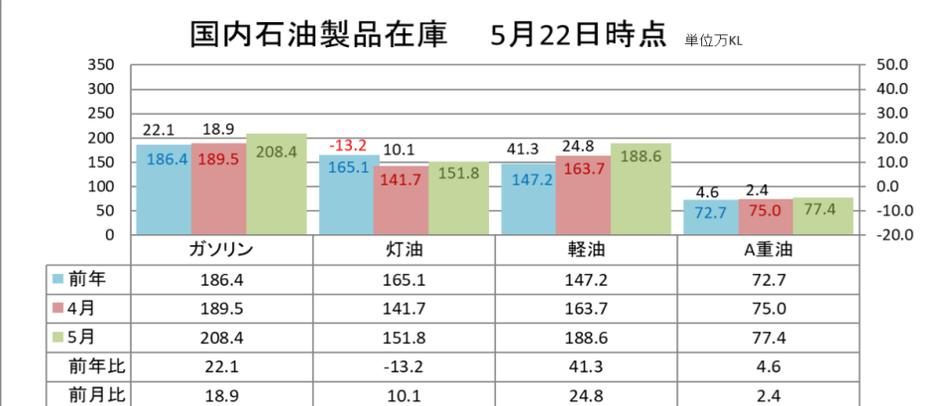
●第1週、5/7のWTI原油は、先週比1.32ドル高の64.90ドルとなりました。世界1位2位の石油消費国である米国と中国はワクチン普及が進んでおり米欧では経済活動規制や移動制限措置を緩和する動きが広がっています。米エネルギー情報局(EIA)が発表した週間在庫統計では、原油在庫が前週比800万バレル減と市場予想の230万バレル減を大幅に上回る取り崩しになりました。一方インドや日本などで感染状況が深刻化しており積極的な買いにはつながりませんでした。

●第2週、週末5/14のWTI原油は、先週比0.47ドル高の65.37ドルとなりました。米最大規模の石油パイプラインを運営するコロニアル・パイプラインは、7日ランサムウェアと呼ばれる身代金要求型コンピュータウイルスの被害を確認しました。メキシコ湾岸の製油所から東部沿岸をつなぐ全長5500マイル超の油送管の稼働をすべて停止したと発表しました。これを受け、ガソリンやディーゼルなどの供給が滞るとの懸念が強まり、相場は、一時65ドル台後半で取り引きされました。しかし12日には、パイプラインの稼働が再開されたため供給不安が後退し、原油は、売られました。

●第3週、週末5/21のWTI原油は、先週比1.79ドル安の63.58ドルとなりました。ロシアのウリヤノフ在ウイーン国際機関常駐代表が、イランの核合意復帰をめぐる協議に大きな進展があったと語ったとの報道がきっかけとなり制裁が解除されればイラン産原油が国際市場に流入し、需給が緩む可能性があるとの思惑から相場は、一時64ドル台に急落しました。また物価上昇に伴い、米連邦準備制度理事会(FRB)が早期に利上げに踏み切るのではないかと懸念が広がり株式相場が急落し原油も売られました。

●第4週、週末5/28のWTI原油は、先週比2.74ドル高の66.32ドルとなりました。米エネルギー情報局(EIA)が発表した週報によると米原油在庫は、21日までの1週間に170万バレル減少し、市場予想の110万バレル減を上回る取り崩しとなりました。石油製品在庫もガソリンが170万バレル減、ディステイレート(留出油)が300万バレル減となりメモリアルデー(戦没者追悼の日)に伴う3連休が始まる米国では、経済正常化が進展し、ガソリン価格が7年ぶりの高値に達しました。

5月平均	WTI原油	65.16ドル	前月比	3.46ドル	為替 1ドル	110.20円	前月差	0.06円
------	-------	---------	-----	--------	--------	---------	-----	-------



日付	変動幅	変動幅
4/29~5/5	±0	ENEOS ±0
5/6~5/12	±0	ENEOS ±0
5/13~5/19	+2.5	ENEOS +2.5
5/20~5/26	±0	ENEOS -0.5
5/27~6/2	-1.0	ENEOS -0.5

メニュー価格推移 平水湾内T/S持ち届け (サイト60日)	【単位:円/KL】			
	0.5HPP	ENEOS LS船用燃料油基準価格		
	2021年1-3月C重油決定価格	49,930	51,930	(49,930(メニュー)+2,000(プレミアム))
	2021年4-6月C重油決定価格	57,330	59,330	(57,330(メニュー)+2,000(プレミアム))

内航燃料油価格推移	【単位:円/KL】		
	適合油価格	A重油	
	2021年1-3月(決定価格)	55,400	59,700
	2021年4-6月(仮価格)	63,400	

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/KL	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	21/4	9桁速報	45,663	66.26	109.57	4,160
	21/5	最終予測	44,800	65.52	108.70	-863
	21/6	展望	46,832	68.62	108.50	2,032
	21/7	展望	45,512	66.99	108.00	-1,320

【6月価格変動要因】

●需要面: 米国・中国では、コロナ収束感が高まっており欧州では、規制緩和が相次ぎ楽観ムードです。米国は、5/31メモリアルデー(戦没者追悼の日)から始まる夏のドライブシーズンを前に需要拡大の期待が広がっています。一方でインド・ブラジル・日本で新型コロナウイルスの流行が広がっていますので需要面では、弱い見込みです。

●供給面: OPECプラス閣僚級会議は6/1開催予定ですが、既に7月までの協調減産スケジュールは、決定しており需要動向を見ながら供給調整を続けており大幅な下落は、想定しづらい状況です。一方イラン核合意の再建に向けた協議が続いており合意すれば日量100万バレル増産の可能性があり下落要因も含まれています。

●リスク資産(金融市場): 物価上昇にともない、米連邦準備制度理事会(FRB)が早期に利上げに踏み切れれば株式相場の急落と原油売りに繋がる可能性があります。

●地政学: 空爆とロケット弾の応酬が続いていたイスラエルとガザを実効支配するイスラム原理主義組織ハマスとの間に停戦が成立していますが、緊張は続いています。関係が悪化すればイスラエルを支援する米国とパレスチナを支援するイランの関係も緊張関係が続き核合意の再建にも影響が出る可能性があります。

〈価格見通し〉 (単位: US/bbl)

	Brent	WTI
High	75	72
Average	68	65
Low	64	60

日付	国	6月経済指標カレンダー	日付	国	6月経済指標カレンダー
1	欧	5月消費者物価指数(HICP、速報値)	10	米	5月消費者物価指数(CPI)
1	米	5月ISM製造業景況指数	15	米	5月小売売上高
3	米	5月ADP雇用統計	16	米	米連邦公開市場委員会(FOMC)終了後政策金利発表
3	米	5月ISM非製造業景況指数	16	米	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長定例記者会見
4	米	5月非農業部門雇用者数変化	17	欧	5月消費者物価指数(HICP、改定値)
4	米	5月失業率	23	米	新築住宅販売件数
8	欧	1-3月期 四半期域内総生産(GDP、確定値)	24	米	1-3月期 四半期実質国内総生産(GDP、確定値)
10	欧	欧州中央銀行(ECB)政策金利	25	米	5月個人消費支出(PCEデフレーター)
10	欧	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見	30	米	6月ADP雇用統計

当レポートは、情報提供のみを目的としておりますのでお取引の判断については、御自身で行って頂くようお願い致します。